

地区グループ再編成の件 I

2020 年 10 月 22 日

地区のグループ再編成について当クラブの協議結果

習志野中央ロータリークラブ 会長：山崎由美 幹事：伊東弘樹

当クラブでは、第 4 グループから共同声明をいただき、当クラブとしてもグループ再編成について、理事会、クラブ協議会で協議いたしました。

協議結果を以下に報告いたします。

(協議結果)

グループ再編成について反対ではないが、時期と進め方に問題があるので、再度審議いただきたい

(理由)

同じグループになる予定の 3 クラブ(千葉南 R C、千葉北 R C、千葉緑 R C)が共同声明でグループ再編成の反対を表明しているおり、このまま新しいグループが纏まらないまま、山本美代子会員がガバナー補佐として活動しにくいと考えています。このままの状態では、ガバナー補佐を送り出すのも難しいと思う。地区、グループ、クラブの関係が円滑な状態になることを望んでいます。

進め方についても、崎山 PG は 7/4 の地区諮問委員会にて、ここで決める内容ではなく、地区内のクラブに意見を聞くべきだと発言されたのに、7/14 に出されたグループ再編成の通知において、地区諮問委員会です承された内容だと文章にされていることにも、疑問を感じております。

時期についても、コロナ禍においてクラブでは十分な協議の時間がない中での通知であり、強引に進められたと感じており、クラブで協議できる時間を掛けて、2790 地区がまとまるようにしていただきたい。

クラブへの調査不実施について

会長：山崎由美 幹事：伊東弘樹

10/28 ガバナー公式訪問の前に習志野中央ロータリークラブ（山崎会長、伊東幹事、崎山 P G）と地区役員（漆原ガバナー、梶原ガバナーエレクト、宇佐美 P G、橋岡 P G、関口 P G途中まで、吉田幹事長）の間に地区グループ編成の進め方について協議が行われました。

その中で崎山 P Gが今回の地区グループ編成について、（すぐ中止するとか、変更するとかを前提でなく）本来、RI の正会員であるクラブの意見を聞いて、編集について検討すべきことが、全くなされていなかった事が判明し、であるならば、今からでも RI の正会員であるクラブの考えかた、意見を十分に聞き検討し、慎重に対応すると修正しなければ、

今日のガバナー公式訪問は受けられないとの発言がありました（これは当クラブの総意でもありました）。それを受けて、崎山 P Gと宇佐美 P G、橋岡 P G、梶原 G E との話し合いの結果、2790 地区 RI の正会員であるクラブ、全 82 クラブに対して、今回のグループ編成について 11-12 月でアンケート調査をして、全クラブの意見を聞いた上で、1-2 月でクラブの意見調整を行い、反対等の意見があっても、グループ編成を中止するとかではなく時間を掛けて議論していこうという事になりました。

これを漆原ガバナーが了承し、ガバナー公式訪問を終える事が出来ました。

しかし、11/7 になって突然、10/28 に参加協議した地区役員から RI の正会員である全クラブへの意見の調査は行わないとの連絡が崎山 P Gに一方的にきました。当クラブからの協議結果の意見（別紙）に対して、回答ないまま、RI の正会員である全クラブへの調査不実施とする決定をされたことは、我々ロータリアン及び、クラブの事を何も考えていない地区のやり方ではないでしょうか？このままでは退会するロータリアンも多数、出て来るでしょう。

今の地区のやり方はロータリークラブの精神から余りにも逸脱していると考えます。

習志野中央ロータリークラブは、グループ再編成について全クラブの意見を聞き、慎重に検討してから進めるべきだと考え、このまま地区の独断と偏見の下に進められる事に、当クラブとしては到底承服できるものではありません。納得できる回答が得られない場合は、当クラブとして然るべき行動を取ろうと考えております。つきましては全 82 クラブの皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。

意欲あるクラブのご意見を求めます。